

# 障がい福祉瓦版

「2人と1匹(?)が歩む共生社会への道」



■問い合わせ先

下野市障がい者  
相談支援センター  
☎(37)9970

## 第五歩 障がいと暮らし

サービスを使った暮らし方

(鈴) さてゆうぽんさん。前回ご紹介したサービス一覧で福祉サービスのことはイメージできた?

(ゆ) そうね。随分たくさんサービスがあることはわかったわ。障がいのある人はみんな何かしらのサービスを使って暮らしているの?

(毛) そうとは限らないよ。サービスの必要がなく、なにも使わずに暮らしている人だっているさ。

(鈴) 家族とかのサポートがある人とかね。

(ゆ) へえ、せっかく使えるものがあるなら利用した方がお得じゃないかしら。私だったらたくさん利用しようと思わ。「ちよっとヘルパーさん、しもつかれ作ってください。」的な。

(毛) あはは(汗)。でもね、ゆうぽん。誰もが無制限に

サービスが利用できるってもでもないんだよ。

(鈴) そうそう、そこはしっかりと市がチェックしているしね。

(ゆ) そうなのねー。じゃあ、どんな人たちがどんな理由でサービスを使うのかしら?教えてくださいさる?

(鈴) 例えば、いまゆうぽんが言ったヘルパーさん、正式には「居宅介護」というサービスだけだね。色々な使い方があるよ。

(ゆ) そうなんだ。例えば?

(鈴) 掃除や洗濯、買い物、調理などの家事をサポートしたり。

(毛) 通院に同行して診察や会計、薬局での薬の受け取りを手伝ったり。

(鈴) 自宅で入浴や排泄の手伝いをしたり。

(ゆ) へえー、幅広いのねえ。私はね、家事が苦手なのよ。一度に色々なことをやらなきゃいけないでしょ?ほんと

混乱してしまうのよねえ。

(鈴) なるほどね。ひとことで家事と言っても、人によって得意不得意はいろいろだよ。

障がいと生活のしづらさと福祉サービス

(鈴) 考え方にもよるけど、障がいがあるっていうのは、何らかの生活のしづらさを抱えるっていうことなんじゃないかなと思うんだ。

(毛) その生活のしづらさをカバーするための一助がサービスなのかもね

(鈴) うん。カバーっていうのもすべてを「やってあげる」というより、前に会ったヘルパーさんは「その人自身ができることまでは奪わないように関わると、言っていたよ。

(毛) そういえば、料理や掃除ができるようになりたいからヘルパーさんと一緒に取り組んでいる人もいて聞いてたことがあるな。

## 今日のコマ



(ゆ) ちよっと、なんで黙ってるの?ねえ!ねえええ!

掲載内容、記事へのご感想をお待ちしております。

障がい福祉に関する現状などを掲載していきます。掲載して欲しい内容がありましたら取り入れたいと思いますので、当センターまでご連絡ください。

(鈴・毛)・・・